

MSW通信 2025.10月号

発行日 2025年(令和7年)10月31日

発行者 高知県医療ソーシャルワーカー協会

事務局 高知市本町4丁目1番37号丸ノ内ビル内 高知県社会福祉センター3F

FAX: 088-871-5100

事務局 E-mail: kochi_msw2017@yahoo.co.jp (お問い合わせ・各種届)

MSW 通信部会 E-mail: kochimsw@yahoo.co.jp (MSW 通信への記事投稿)

会報部会 E-mail: kaihou_kochi@yahoo.co.jp (会報 医療社会事業への投稿資料提供)

URL: <http://www.kochi-msw.com/>

ご案内

「令和7年度会費引き落とし」7月28日口座より引落しさせていただきました。

※引き落としができていない分については、年明け1月を予定しております。

「協会年会費 直接入金のお願い」

今年度会費を直接お振込み予定の方につきまして

納入依頼を送付いたしましたのですみやかにご入金いただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

会費振込口座

・銀行支店名: 四国銀行 上町支店

・口座名義: 高知県医療ソーシャルワーカー協会会長中本雅彦

・預金種別: 普通 口座番号: 5110175

報 告

『理事会』

【日 時】 令和7年10月9日(木) 19:00～

【開催方法】 オンライン(ZOOM ミーティング使用)

【参加者】 理事: 佐々木・森田・小柴・秋田・大熊・荻野・稲田・島田・上村・宮地・山光・大倉

出席理事: 10名 理事会成立

事務局: 村松・清水

【議 題】

1, 部会活動報告(事業計画・報告検討)

① 社会資源調査研究部会(森田理事)

- ・高知県のHPで、病床機能の報告を都度確認中、掲載がなければR5年度病床機能の報告を使って調査を行っていくように部で検討中

次回開催：令和7年10月23日(木) 17:45～

② 生涯研修部会(秋田理事)

- ・10月の部会：10月15日(水)開催予定。

・部会内では専門研修のテーマを検討中。朝日新聞の報道を受けて日本協会が倫理綱領の研修を開催したこともあり、生涯研修部でも、倫理綱領と紐づけた研修の案がでている。講師を依頼する方や、その他のテーマなど理事会にて相談予定。

次回開催：令和7年10月15日(水) 19:00～

③ 月例会部会(大熊理事)

- ・月例会について：開催日を、R8年1月30日(金)か2月6日(金)で検討中。

次回の理事会では日程確定の報告ができる予定。

次回開催：令和7年12月9日(火)

④ 会報部会(稲田理事)

- ・今年度の会報について、引き続き訂正箇所などの確認中。

⑤ 財務部(佐々木理事)

- ・9月19日(金) 各部会、会計担当との財務部会開催、収支中間報告を実施。

各部会、予算内で順調に進んでいる。各部会の会計報告の様式を統一することを決定。

・次年度から、各部会の必要な予算の報告を受け検討していく案がでている。次回の理事会の議案としてあげ協議予定。

次回開催：令和7年10月15日(水) 19:00～

⑥ 広報部会(事務局・通信・HP・SNS)

- ・HP更新 9/17×1回・9/18×1回・9/25×2回・10/3×1回 計5件

- ・ライン更新計1回 研修・トピック情報 ホームページとのリンク内容

- ・通信発行 9月号 9月30日発行 10月3日 HP掲載

⑦ 大会部会(島村理事)

次回開催：令和7年9月22日(月) 19:00～ zoom

- ・大会記念シンポジウム：今だからこそ身近に感じて学ぼう！

「災害時のソーシャルワーク」～災害関連団体の

支援を学ぶ～ 開催日決定：R8年2月28日(土) 13:30～17:10

DPAT・DWAT・DHEAT・JRAT(KRAT)に、団体紹介、支援内容の説明、その後ディスカッションの予定。

10月6日の部会の後に、DHAETの講師派遣が難しいとのことで、来週もう一度部会を開き、内容なども再検討していく。次回の理事会にてあらためて報告の予定。

2, 他団体関係機関からのお知らせ・案内・名義後援等

- ・高知県社会福祉協議会：ふくし就職フェア summer の後援について(お礼)
- ・高知県自閉症協会：研修会・啓発講演会のご案内
- ・「埼玉版 FEMA による避難所支援に係る図上訓練と 9 月定例会について」案内
- ・日本医療ソーシャルワーカー協会：「第 35 回会長会議」案内 令和 7 年 10 月 25 日、盛岡市民ホール
- ・日本医療ソーシャルワーカー協会「全国医療ソーシャルワーカー協会基礎調査」再依頼
- ・高知県精神保健福祉センター：高知ダルク主催「大きな問題ではなく小さな問題の集まり、トラウマとの付き合い方」令和 7 年 10 月 15 日、県民文化ホール第 6 多目的室
- ・HIV 医療体制整備班主催：「第 5 回 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の共同シンポジウム」令和 7 年 11 月 20 日（木）リモート開催
- ・千葉県医療ソーシャルワーカー協会：「ソーシャルワーカーの業務マネジメント実践編」案内 令和 7 年 10 月 19 日（日）会場：千葉市生涯学習センター（ハイブリッド開催）
- ・（一社）神奈川県医療ソーシャルワーカー協会：機関誌「MSW かながわ」の送付について
- ・高知県言語聴覚士会：ことこと送付について
- ・高知県アディクション・フォーラム高知実行委員：「アディクションフォーラム高知 2025」案内。令和 7 年 10 月 19 日（日）、会場：太平洋学園高等学校
- ・愛媛県医療ソーシャルワーカー協会：2025 年度基礎研修Ⅱ（現任研修）「学会発表実践研究を学ぼう！」案内。令和 7 年 10 月 19 日（日）会場：ウェルピア伊予（ハイブリッド開催）
- ・高知県子ども・福祉政策部長寿社会課：「令和 7 年度高知県多職種協働によるケアマネジメント実践研究会」案内。令和 7 年 11 月 30 日（日）県立ふくし交流プラザ

3, 協会代表者派遣

- ・10 月 18 日（土）イオンモール高知：高知県ソーシャルワーカー三団体にてソーシャルワークの啓発、就職相談対応
- 啓発については、既存のリーフレット配布と新たにうちわを作成配布予定
（三団体共同出資 予算 100,000 円以内）
相談対応には、現在理事、会員より検討中

『会員動向』

なし

次回理事会：R7 年 11 月 13 日（木）19：00～ リモート開催

MSW 通信への記事投稿お待ちしております！

会員で共有したいことや全国のソーシャルワーカー仲間、関係者、国民にお伝えしたいことがあれば先ずはご相談ください。

送付先は通信 yahoo アドレス kochimsw@yahoo.co.jp

サービス付高齢者向け住宅朝倉さわやかガーデン 見学感想・報告

高知県高知市にある「朝倉さわやかガーデン」は、特定医療法人仁泉会が運営するサービス付き高齢者向け住宅で、2020年10月2日に開設です。JR朝倉駅から徒歩約5分と交通の便も良く、スーパーも近くにあり利便性の高い立地にあります。全60戸の居室を備えた介護付きの施設で、要支援・要介護の高齢者が安心して生活できるよう、医療・介護の両面で支援体制が整えられています。施設内はバリアフリー設計で、広々とした居間や日当たりの良いダイニング、開放感のあるバルコニーが特徴で、夏には鏡川の花火も見ることができます。入浴設備も充実しており、個別浴や機械浴に対応し、3階にはリクライニング式入浴椅子を備えた特殊浴槽もあります。また、浴室には赤外線パネルヒーターが設置されており、寒い季節でも快適に過ごせる環境が整っていました。

併設の「朝倉さわやかクリニック」に加え、母体である「朝倉病院」とも連携しており、体調不良時やリハビリ希望の際には送迎による通院が可能です。介護サービスとしては、特定施設入居者生活介護および介護予防特定施設入居者生活介護の指定を受けており、安否確認や生活相談を含め、必要な支援を包括的に提供しています。

入居対象は、原則として60歳以上で要支援1・2または要介護1～5の認定を受けている方です。入居者の約9割は女性で、要介護1前後の方が中心ですが、概ね自立して生活している方も多く見られます。生活スタイルの自由度も高く、外出は本人の体調を考慮しつつ可能で、近隣のスーパーへ買い物に行く方もいます。食事は施設で提供されるものに加え、各自で購入した食品も食べることができるそうです。また、お酒も自室内での飲酒が許可されており、自室の冷蔵庫での個別管理が可能です。

施設内は白を基調とした清潔感のある空間で、木のぬくもりを感じられる温かみのある雰囲気印象的でした。職員の方々は明るく丁寧な対応で、来訪者にも気持ちの良い挨拶をしてくれるなど、接遇面でも非常に好印象でした。設備・サービスともに高い水準にありながら、利用料金は比較的抑えられているなど、施設入所を考えているクライアントに実感を持って伝えられる材料をいただきました。見学を暖かく受入れてくださった施設長様はじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。



『研修関連』

基礎研修 A コース

日時：R7 年 9 月 21 日(日) 9:30～17:00

場所：近森病院管理棟 3 階会議室

講義内容：① 保健・医療・福祉をめぐる動向・諸制度の変遷

講師：高知県立大学 西内 章氏

② 保健医療分野におけるソーシャルワーカーの役割

講師：いずみの病院 仙頭 渚氏

③ ソーシャルワークの価値・視点・専門性

講師：高知医療センター 丁野 江里子氏

④ ソーシャルワークと社会資源

講師：高知大学医学部附属病院 前田 英武氏



●報告

① 保健・医療・福祉をめぐる動向・諸制度の変遷

ソーシャルワークの方法論、保健医療福祉の理論的動向、社会保障・社会福祉をめぐる動向、近年の施策動向などについて

② 保健医療分野におけるソーシャルワーカーの役割

いずみの病院の概要、ソーシャルワーカーの定義・役割について、事例検討

③ ソーシャルワークの価値・視点・専門性

ミクロ・マソ・マクロレベルで見たソーシャルワークの価値・視点について、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義から見る専門性

④ ソーシャルワークと社会資源

高知大学医学部附属病院の概要、社会資源の活用方法について、演習（社会資源の選択を営利企業に委ねることの是非について）

もみのき病院 井上稔望

●感想

今回の研修に参加したことで SW が行う支援における基本的なことを学び、日々の業務を振り返ることができました。事例では、病院という環境で福祉の視点から支援する SW は患者・家族にとって大きな存在であることを再確認することができました。SW であることの責任と自覚をこれまで以上に意識して取り組んでいきたいです。他病院の SW と日々の業務になどについて話す機会があり、交流することができて嬉しかったです。研修で学んだことや気づいたことを生かして、患者さん・ご家族に寄り添ったより良い支援ができるよう頑張っていきたいです。

近森病院 岡林優希



編集後記

お久しぶりの編集後記、前回担当してから1年以上が経過した。

さて社会変容はもちろんだが、人口動態が大きな節目を迎えた。2025年は団塊の世代のすべての人が後期高齢者75歳を迎えたこととなる。介護保険がスタートして25年、地域包括ケアシステムの確立を目指し関連する社会保障制度の多くが改定され、また新たな制度が誕生してきた。ごく一部の都市を除き少子高齢多死社会となり人口減少が当然の時代となった。多死社会故にQODが重要となり、最期の瞬間まで「本人の意思」が尊重された医療介護の提供が改めて注目され始めた。本人の意思を尊重すること。私たちの日常では、様々な疾病障がい有すること、またその人のおかれている環境などから、意思確認が容易でない方が少なくない。容易ではないからこそ、私たちソーシャルワーカーは専門職としての倫理観を基盤にあらゆる技術や他職種仲間と協働し、その人を理解しよう知ろうとする。その人に意志があることをあたりまえとし、そのプロセスを重んじる。医療ソーシャルワーカーとして仕事について35年、初心にかえり意思決定に関わることは何ぞやと自問自答する毎日である。

土佐のマイケル

